

鳥取しゃんしゃん祭オープニングパレード



8月11日(土)～15日(水)の5日間、第48回鳥取しゃんしゃん祭が開催されました。オープニングパレードが行われた初日には、鳥取市商店街振興組合連合会の主催する土曜市が同時開催され、まちなかに大きなにぎわいが生まれました。また、奈良とっとりファンクラブの会員が中心となった「関西とっとり好きやねん連」も参加。イベントの盛り上げに、大きな力添えをいただきました。



とっとり市報

2012年9月号 第1025号

目次

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
鳥取市を語る 市政への提言 いなば西郷むらづくり協議会 谷口 興治さん	P3
特集 花と緑の祭典まであと1年	P4-5
特集 「輝 ^き なんせ鳥取」が10周年を迎えました	P6-7
特集 乗って守ろう！地域の公共交通	P8
シズ 望見～鳥取市を想う～ 蜂谷 宗苾さん	P9
シズ 元気です 藤建 ^{ふじけんけんそう} 演奏	P10-11
まちかどアルバム	P12-13
健康・病院	P14-15
ピックアップインフォメーション	P16-19
「がん」からあなたを守りましょう！	P16
総合防災訓練にともなう緊急速報メールの配信について	P17
祝日のごみ収集(鳥取地域)	P18
「本人通知制度」が始まりました	P19
など	
情報ひろば	P20-28
福祉(母子家庭の置替えサービス、認知症サポーター養成講座など)	P20
お知らせ(健康づくり講演会、秋の鳥取砂丘一斉清掃など)	P20-
募集(あなたの物語が漫画になる!!、児童家庭課からのお知らせなど)	P24-
市民伝言板	P27
など	
無料相談	P29
各施設のイベント情報	P30-31
食・読者プレゼントなど	P32

PUBLIC INFORMATION

とっとり市報 No.1025

鳥取市の人口

男 : 94,206人 [-53]

女 : 101,296人 [-85]

合計 : 195,502人 [-138]

世帯数 : 77,521 [-324]

平成24年8月1日現在 [] 内は前月比

※住民登録人口と外国人登録人口を合計したものです。

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しております。どうぞご利用ください。

鳥取市役所

TEL 0857-22-8111(代)

FAX 0857-20-3040

〒680-8571

(郵便物は郵便番号と課名のみで届きます)

本庁舎 尚徳町116番地

第二庁舎 上魚町39番地

駅南庁舎 富安二丁目138番地4

鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.lg.jp/>

音声読み上げなどの支援機能があります

ホームページ抜粋版

(携帯電話対応アドレス)

<http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/>

電子メール

kouhou@city.tottori.lg.jp

各総合支所

国府 TEL 0857-39-0555

福部 TEL 0857-75-2811

河原 TEL 0858-76-3111

用瀬 TEL 0858-87-2111

佐治 TEL 0858-88-0211

気高 TEL 0857-82-0011

鹿野 TEL 0857-84-2011

青谷 TEL 0857-85-0011

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室

TEL 0857-20-3132

発行/平成24年9月1日

印刷/株式会社鳥取平版社

地域の活性化は、地域に誇りを持って生きること

地域に対する誇りが活性化に

市長 谷口さんが会長の「いなば西郷むらづくり協議会」は、非常に優れた活動をしておられますね。

谷口 協議会は、自主組織だから自分たちがその気にならないといけないということ、女性や集落も巻き込んでワークショップで議論しました。

私たちは、気持ちの面で、地域に対する誇りを持って生きることが活性化になると考えました。そこで、地域の再発見に取り組んだんです。西郷地区を散策したりする「ぎやらりーあっちこっち」には、西郷地区内の人が多く参加しています。もう一つは、参画ということですね。みんなでひとつのことをやることはすごくいい雰囲気を作り出します。

西郷地区での経験からの提言

市長 中山間地域の活性化に具体的な提案はありませんか。

谷口 活性化とは、一般的には、人口が増えてにぎやかになるようなイメージですが、地域への誇りを持つたり、事業へ参画することで、皆さんのやりがいや生きがいを活性化していけばいいんじゃないかと私たちは考えています。地域の皆さんが家から元気に出かけ、みんなが参画して事業をやっていく、そしてまちか

ら来ていただいた方と一緒に楽しんでいただき、西郷だったら行ってみたい、そういう地域にするのが夢なんです。

具体的には、空き家の活用です。西郷地区にもガラス工房の方においでいただいています。他の地域から若い人たちが来るのは、非常にいい刺激があります。空き家の持ち主や借りた人の気持ちをうまくコーディネートし、空き家に住んでいただくことができればと思っています。

また、農村は、若い人が結婚すると都市部に出してしまうことが多いんですが、私の所は出て行かないんですよ。若い年代の夫婦が、グループで仲良くやってるからなんです。今住んでいる所は、意外といい所なんだ、そういうムード、これをどうやって作ればいいのかは、難しいんですけど、昔の青年団のようなものでしょうか。

他の地域でも若い人たちが住み続けているところがあります。その理由を分析し、そういった地



- 対談者 いなば西郷むらづくり協議会
会長 谷口 興治さん
- 場 所 河原歴史民俗資料館
- 対談日 平成 24 年 8 月 1 日 (水)
- 協 力 かたくりの会

域を作るための支援していただければ、活性化につながるのではないのでしょうか。

市長 若い人たちが住み続けることのできる地域づくりが、とても重要だと思います。そのためにも地域の誇りを高めることと、住民参加の協働のまちづくりを進めたいですね。

※対談内容を抜粋・要約して掲載しています。